

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	環日本海諸国語ⅡB(中国語)	
科目基礎情報							
科目番号	0018			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	「LL中国語入門」大修館書店, 「中国語ははじめの一歩」白水社						
担当教員	星野 朱美						
到達目標							
(1) 子音, 母音と簡単な単語の発音ができ, ピンインを見て発音ができるようになることを目指す。							
(2) 発音を聞いて, 正確に発音記号を書き取れるようになることを目指す。							
(3) 簡単な会話を聞き取れ, かつ, 正確に答えられるようになることを目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	発音記号 (ピンイン) を見て, 正確に発音ができる。			発音記号 (ピンイン) を見て, 大体発音ができる。		発音記号 (ピンイン) を見て, 発音ができない。	
評価項目2	発音を聞いて, 正確に発音記号を書き取れる。			発音を聞いて, 大体発音記号を書き取れる。		発音を聞いて発音記号を書き取れない。	
評価項目3	正確に簡単な会話を聞き取れ, かつ, 正確に答えることができる。			簡単な会話を聞き取れ, かつ, 大体答えることができる。		簡単な会話を聞き取れなく, かつ, 殆ど答えることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	(1) 目標 ①子音, 母音と簡単な単語の発音ができ, ピンインを見て発音ができるようになることを目指す。 ②発音を聞いて, 正確に発音記号を書き取れるようになることを目指す。 ③簡単な会話を聞き取れ, かつ, 正確に答えられるようになることを目指す。 (2) 概要 中国語に興味を持つような授業を行う。中国の文化, 習慣などを紹介する。中国語ピンインの習得を目的として, ピンインと漢字の書き方, 聞き取りの練習などを行う。各課終了ごとに, 理解度を把握するために小テストを実施する。						
授業の進め方・方法	・ 予習, 復習, 課題を前提とし, 講義を中心に進める。 ・ 学生の発音を確認しながら講義を進める。						
注意点	<授業改善策> 学生の理解度を確認しながら, 発音の練習時間と課題を増やしたり, さらに中国語に興味を持つように工夫して, 学生の意欲を維持して行きたい。 <追認試験> 評価が50点に満たない者は, 願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果, 単位の修得が認められた者にあっては, その評価を50点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第10課 (2)		舌歯音ができるように目指す。		
		2週	第11課 (1)		・ 子音と捲舌母音ができるように目指す。		
		3週	第1課		"是"の文は理解できるようにする。		
		4週	第2課 (1)		指示代名詞を用いて簡単な会話を話せるようにする。		
		5週	第 2 課 (2)		疑問詞を用いて, 簡単な会話を話せるようにする。 ・ 復習と確認テスト		
		6週	総合復習		総合復習		
		7週	口述試験		1回から6回までの講義内容について, 口述試験を実施する。		
		8週	後期中間試験		筆記試験を実施する。		
	4thQ	9週	成績評価・確認		期末試験の成績確認		
		10週	第3課		動詞を用いて簡単な会話を話せるようにする。		
		11週	第 4 課 (2)		量詞の用いて, 簡単な会話を話せるようにする。		
		12週	第4課 (2)		形容詞の文用いて, 簡単な会話を話せるようにする。		
		13週	第5課 (1)		時刻の表現を用いて, 簡単な会話を話せるようにする。		
		14週	第5課 (2)		日付の表現を用いて, 簡単な会話を話せるようにする。		
		15週	口述試験		9回から14回までの講義内容について, 口述試験を実施する。		
		16週	成績評価・確認		期末試験の成績確認		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	筆記試験	口述試験	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0